

校長室通信

小国町立小国中学校

令和4.9.16(金)No15

文責 狭間卓史



「 やっと・・・最高 」

9月4日から7日にかけて9年生の修学旅行が無事終了しました。本来であれば昨年の9月に実施予定だった行事ですが、新型コロナウイルス感染症の流行により、再三延期してのことでした。

今回も新型コロナウイルス感染症の流行が懸念される状況に変わりはなく、しかも台風11号が接近するなかでの実施でしたので、保護者の皆様方もさぞかし心配されたことだと思っています。

学校としても生徒の安全が最優先されるべきことであり、実施の判断はぎりぎりまで迷ってのことでした。

実施に踏み切った理由としては、新型コロナウイルス感染症への対策として、2日(金)をオンライン授業に切り替えるとともに、3日(土)の午前中も各担任がご自宅と連絡を取り健康観察を行わせていただいたこと、それでも出発当日の朝の検温で体調不良が認められれば、参加を辞退していただくことなど、生徒にとってもご家族にとっても厳しい条件を理解していただいていたことでした。また、万が一、旅行中に体調を崩す生徒が出た場合の、ご家族のお迎えを待つまでの対応等についても、学年部で丁寧な計画が練られていました。このこと以外でも、台風接近の場合に備え、様々なケースを想定した対応策を考えてありました。これらのことは学年主任の坂本教諭と、今回の旅行を依頼していた九州産交担当者(押川さん)との間で綿密に話し合いが重ねられており、それが何よりの判断の拠り所となりました。私自身、押川さんとは修学旅行で何度もご一緒する機会があり、この方が添乗してくださるのであればという信頼がありました。実際に、今回の旅行では台風の影響を受け、一日延泊することとなりましたが、旅行団長の家入教頭からは随時状況報告が入っており、生徒が安全な状況にあることがわかっていたので安心していただけ次第です。

一年越しの再三延期してきた旅行は、最後に延泊という展開になりましたが、多くの学びとたくさんの楽しい思い出を作る何よりの四日間になったことを嬉しく思います。

今回の旅行に際し、ご理解、ご協力いただきましたご家族の皆様方はもちろんのこと、小国町当局には例年の旅行費用補助に加えて、新型コロナウイルス感染症に関するキャンセル時の保険代金等にもご理解・ご支援いただきました。この場を借りましてあらためて感謝申し上げます。

※この通信のカラー版は、「小国中学校ホームページ」でご覧いただけます。



【 大和ミュージアムにて 】



【 宮島にて 】



【 瀬戸内海を背景に 】



【 広島の夜景を背景に 】



【 台風一過の朝焼け 】